

実践 プリアジャストエッジワイズ法

ワイヤーベンディング不用の矯正治療、タイポドント実習2症例

抜歯症例と抜歯禁忌症例

本講習会は、矯正治療を研鑽することで、歯科の世界をより高度な世界に発展させることを目的としています。

矯正治療に用いる装置は、プリアジャストエッジワイズ装置とTi-Niワイヤーです。この装置はワイヤーベンディング不要で、かつ治療術式も簡便にもかかわらず、臨床的に4つの優れた特性があります。

まず、抜歯空隙閉鎖や犬歯遠心移動に、スライディングメカニクスを用いられます。スライディングメカニクスは活性化量に制限なく、ワイヤーも屈曲しないので治療期間とチェアタイムが短縮されます。

次に、Ti-Niワイヤーのレベリングには拡大作用があり、ワイヤーを屈曲せずに叢生を改善できます。

さらに、Ti-Niワイヤーは、そのままアップライトスプリングとして用いられます。

最後は、Ⅲ級ハイアングル症例の治療に、MEAWテクニックと同等の治療効果が得られることです。

難症例といえども、治療は上記の組み合わせです。ただし、矯正治療では抜歯すべき症例と抜歯禁忌症例があり、この診断が最も重要なことになりました。

今回、これらの2症例をタイポドントで実習し、診断と治療のポイントを研鑽します。特に、抜歯部位の診断は重要で、たとえば下顎の抜歯部位は第一小臼歯や第二小臼歯、智歯、あるいは非抜歯に及びます。図3は口唇閉鎖不全を伴う叢生症例で、抜歯部位とスライディングメカニクスによる犬歯遠心移動・空隙閉鎖を研鑽します。

一方、図1は左側3臼歯のシザーズバイトを呈する症例で、図2は下顎鞍状歯列で過蓋咬合症例です。いずれも下顎の叢生量が著しくとも、抜歯禁忌症例です。さらに、含菌性嚢胞や上顎水平埋伏犬歯の保存療法も研鑽します。

応用症例とタイポドント(抜粋)



図1 左側臼歯(567)のシザーズバイト



図2 過蓋咬合症例(下顎の鞍状歯列)



図3 タイポドント(抜歯症例)

令和5年度 日程と内容

2023年 9月21日(木)	I 級抜歯症例(タイポ1-①) 抜歯治療の診断、レベリング
10月19日(木)	I 級抜歯症例(タイポ1-②) 犬歯遠心移動実習、前歯レベリング
11月16日(木)	I 級抜歯症例(タイポ1-③) 空隙閉鎖実習、継続治療症例
12月21日(木)	II 級過蓋咬合症例(タイポ2-①) エチオロジ、レベリングの拡大作用
2024年 1月25日(木)	II 級過蓋咬合症例(タイポ2-②) 咬合挙上、シザーズバイトの治療

講習時間・定員

10:00~16:30 / 10名

受講料

講習費 250,000円(テキスト代込)
材料費 132,000円(いずれも消費税込)

会場

389三鷹(JR中央線三鷹駅徒歩4分)

後援

株式会社 松風 矯正課

お問い合わせ

(株)松風 矯正課 NLTセミナー係

〒113-0034 東京都文京区湯島3-16-2
TEL:03-3832-1824 / FAX:03-3832-7682

受講料お振込先

三菱UFJ銀行
昭島支店(普通)0309309
NLT矯正研究所 代表 野田隆夫



講師
野田 隆夫
のだ たかお

東京医科歯科大学卒業、歯学博士
野田矯正歯科クリニック院長
NLT矯正研究所代表



テキスト

実践プリアジャストエッジワイズ法 ストマツロジーとしての矯正治療
(東京臨床出版)

著書・論文

水平埋伏第三大臼歯のアップライト(矯正臨床ジャーナル)
Bicuspid Tubes(JCO誌)、抜歯しない埋伏歯の矯正治療(クインテッセンス出版)、
埋伏歯の保存治療ストラテジー(永末書店)、その他多数。

◆ お申込はメールにて受け付けております ◆

お申込先メールアドレス <(株)松風矯正課 NLTセミナー係>

nlt.noda@gmail.com

こちらのメールアドレスに、

ご氏名・年齢・医院名・ご住所・電話番号・上記テキストの有無
をご記入の上、送信をお願い申し上げます。

※メール受付後、土日祝を除く3営業日以内に担当者より申込み受付、振込案内のご返信をさせていただきます。

お申込み後のキャンセルにつきましては、キャンセル料が発生する場合がございます。詳しくはお申込み時の返信メールに記載のキャンセル規定をご確認ください。

※メール送信がうまくいかない場合、あるいはお申込みから土日祝を除く5営業日以上経過しても返信が無い場合、

大変お手数ですが(株)松風までご連絡ください(TEL:03-3832-1824)。

※お申込み時のメールアドレスは、今後セミナー関連のご連絡に使用させていただきますので、確認のしやすいものをご使用ください。